

アトリウムを経て

①計画敷地：沖縄県中城公園南遊具広場



これまでの公衆トイレ

外部空間：建築物、便器等は外気にさらされている
落書き：管理が難しく落書きも目立つ
暗い：プライベートな機能上、暗い
犯罪：周囲からの視線が無いため犯罪の危険性がある
汚れ：虫の死骸や動物の糞で汚れている

アトリウム

- ・ガラスで外部を切り取り内部空間とする
- ・アトリウムを介する事で上質な空間を目指す
- ・ガラスの屋根から光が落ちる、明るい空間をつくる
- ・アトリウム空間に集まる人々の視線が犯罪を防ぐ
- ・虫や動物などから人を遠ざけるシェルターの役割を果たす

提案

計画敷地には、シェルターの役割を果たす内部空間のあるトイレが適している。
考えた結果、内部空間化されたトイレにはアトリウムが必要だという結論に至った。
これからの公衆トイレは「これまでのトイレ」と「アトリウムトイレ」の2種類に分類されるだろう。
今提案は、アトリウムトイレの出発点となり得ると信じている。

計画敷地はトランポリンが特徴的な広場であるが、トランポリンには6～12才と年齢制限がかかっているため、登れない人も多い。トランポリンに登れない人を観察すると、遊具の下で見守っている人もいれば小さい子どもをつれて芝生で遊んでいる親子もいる。そうした状況の中、周囲には森があり虫がとても多い。虫が多い中で用を足すことやトイレ内に巣をつくられてしまうことを考えると、この敷地には内部空間のトイレが必要だと考えた。今提案は外部から遮断されたシェルターの役割を果たすトイレを目指した。



外観パース

建築概要
面積 : 99 m²
構造 : RC造+木造
階数 : 平屋建て
最高高さ : 5050mm

②トイレを内部空間化するために

トイレを内部空間化すると、様々な問題が考えられた。そんなとこ怖くて入れないという声もあるし、施錠はどうか、靴でどうせすぐ汚れるのではないかなど問題としてあがった。入りづらいという問題は、中が見え入りやすいアトリウム空間を間に挿入することで解決した。施錠など管理の問題は、事務所に伺ったところ隣のトランポリンと一緒に9:30~17:30という制限をかけて公園側が管理するということがあったので問題ない。

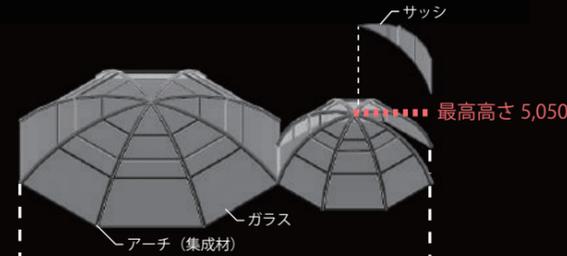
次に、靴で汚れるのではないかなという問題が残った。

右の2枚の写真は、商業施設とホテルの入り口の写真である。気づかないうちに我々は内部空間に入るときに手続きを踏んでいる。トイレに入るまでに、芝→ゴムチップ舗装→グレーチング→ドアマット→床タイルというように床材が移り変わっていくようにした。実はドアマットのような手続き機能を空間にしたものがアトリウム空間なのである。



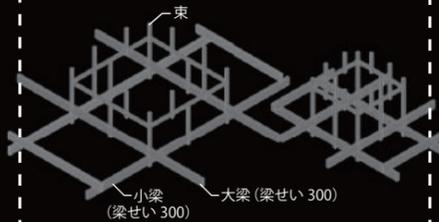
アトリウム屋根

敷地の南側に高い木があるので明るさを保つためにガラスの屋根とする。空調との関係もあるので一部のみガラスに変更となる可能性もある。



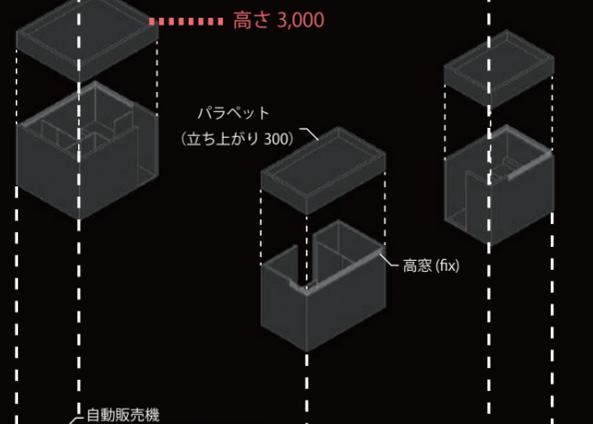
大梁 / 小梁 / 束 (集成材)

RC造の各トイレの上に大梁をかけ、そこに吊るように小梁をかける。その上の束が屋根を支える。この構造体の影がアトリウム空間に落ちる。



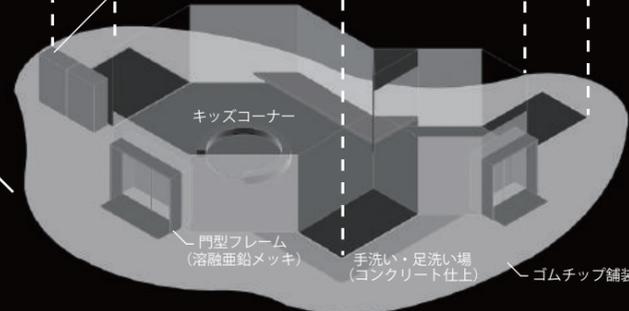
男 / 女 / 多目的トイレ

RC造で三棟に分かれている。内部空間化されたことで清潔感のある内装にすることも可能になり、高窓から入る光は天井に光のグラデーションを描く。天井高2300、天井懐200、屋根スラブ150。開閉できる窓は無く、空調管理されている。



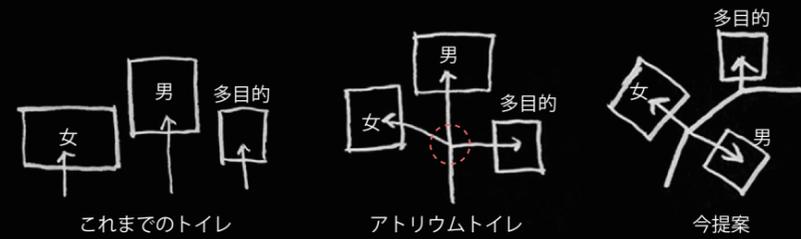
エントランス等

トイレ以外の機能として、手洗い・足洗い場、キッズコーナー、自動販売機、ベンチがある。エントランス部分は金属の門型フレームが自立している。また、周囲の床をゴムチップ舗装とすることで安全性を確保する。



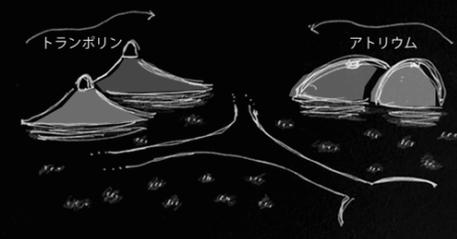
全体構成

③プランニング



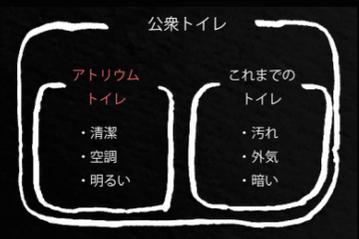
上図は、平面プランのダイアグラムである。これまでのトイレは左のように目的の場所によってルートが分かれているものが多い。アトリウムトイレは、そこに「一度みんなが会える場」を挿入する。これは、複合施設などのアトリウム空間と同じ考え方で、「その空間を豊かにすればみんなが豊かになる」という事を目指している。アトリウム空間を豊かにすることでこのトイレはみんなにとって豊かになると考えた。上図・右は、そこにさらに回遊性を持たせた今提案のおおまかなプランである。

④ランドスケープ



外観パースを見ると、2つのアトリウムがこの建築の大きな特徴となっていることがわかる。これは、既存のトランポリンとのバランスを考えてデザインしている。駐車場から来た人を上のスケッチのようにリズムよく奥に迎え入れることを目指した。

⑤これからの公衆トイレ



これからの公衆トイレは、これまでのトイレに加えて「アトリウムトイレ」という新しいシステムのトイレが増えるだろう。アトリウムトイレは清潔で、安全な公衆トイレの新しい考え方なので様々な応用が考えられる。今提案は、アトリウムトイレの出発点となり得ると信じている。

